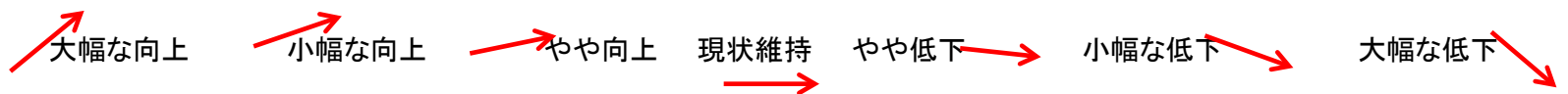


川越中学校 平成23年1月下旬実施 教育活動アンケート
 ※数字は、各項目において、「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた人の割合です。



生徒		7月比	保護者		7月比	教職員		7月比
①	あなたは、学習にしっかり取り組んでいますか。	77.0 %	①	お子様は学習にしっかり取り組んでいますか。	65.5 %	①	学習にしっかり取り組めるようにしていますか	100.0 %
②	あなたは、学校で仲間と協力できますか	88.6 %	②	お子様は何事にも協力して取り組んでいますか	76.2 %	②	仲間と協力できるように指導していますか	96.0 %
③	あなたは、何事にも最後までしっかりと取り組んでいますか。	82.8 %	③	お子様は何事にも最後までしっかりと取り組んでいますか	74.2 %	③	何事にも最後までしっかりと取り組めるようにしていますか	96.3 %
④	あなたは、元気よく明るくあいさつができますか。	80.3 %	④	お子様は元気に明るくあいさつができますか	79.0 %	④	元気よく明るくあいさつができるようにしていますか	76.9 %
⑤	先生は、勉強をわかりやすく、ていねいに教えてくれますか。	79.9 %	⑤	先生はわかりやすく丁寧な授業を行っていると思いますか	81.0 %	⑤	授業時数の確保と、わかりやすい授業の実践に努めていますか。	100.0 %
⑥	TTや少人数教育のときの授業はわかりやすいですか。	77.3 %	⑥	お子様はTTや少人数授業のときの授業はわかりやすいと言っていますか	75.6 %	⑥	TTや少人数指導において工夫ある授業を展開していますか。	88.5 %
⑦	あなたは、自然教室・職場体験・修学旅行などの学習に意欲的に取り組みましたか。	93.1 %	⑦	お子様は自然教室、職場体験、修学旅行などの学習に意欲的に取り組みましたか	95.7 %	⑦	生徒の個性や特性に応じた地域学習や体験学習を展開することができましたか。	80.0 %
⑧	あなたは、学校の成績はテストの点数だけでなく、学習活動全体で評価されていると思いますか。	78.5 %	⑧	お子様の学習の評価はテストの点数だけでなく、いろいろな面から評価されていると思いますか	81.7 %	⑧	指導と評価の一体化をはかり、生徒のやる気を引き出すことができましたか。	88.9 %
⑨	あなたは、学校行事や学級活動など学習以外の活動もしっかり取り組んでいますか。	85.9 %	⑨	お子様は、学校行事や学級活動など学習以外の活動もしっかり取り組んでいると思いますか	87.4 %	⑨	学校行事、学級活動など学習面以外の活動もしっかり指導していますか。	100.0 %
⑩	学級は、みんなが協力するまとまりのあるクラスになっていますか。	83.6 %	⑩	お子様の所属するクラスはみんなが協力するまとまりのあるクラスとなっていますか。	84.8 %	⑩	生徒同士が協力してまとまりのある学級集団づくりに取り組んでいますか。	95.8 %
⑪	先生は、相談にのってくれますか。	73.4 %	⑪	先生は子どもの相談にのってくれていると思いますか	81.9 %	⑪	教育相談などの機会を利用して、生徒理解に努めていますか。	96.0 %
⑫	あなたは、道徳の時間や人権学習の授業にしっかりと取り組んでいますか。	84.9 %	⑫	学校は、道徳や人権学習にしっかりと取り組んでいますか	80.7 %	⑫	道徳の時間を計画的に実施し、人権教育を推進していますか。	80.0 %
⑬	あなたは、先輩や後輩と楽しく部活動に参加していますか。	72.1 %	⑬	お子様は先輩や後輩といっしょに楽しく部活動に参加していますか	87.2 %	⑬	活動への意欲を高め、達成感や成就感が持てるように指導していますか。	84.0 %
⑭	あなたは、部活動にしっかり取り組んでいますか。	86.1 %	⑭	お子様は部活動にしっかり取り組んでいますか	86.9 %	⑭	異年齢集団を意識した活動を通して、人とのかかわり方について指導していますか。	92.0 %
⑮	学校の様子を伝えていますか。	79.2 %	⑮	授業公開、懇談会、学校だよりなどで学校での生徒の様子がよくわかりますか	81.0 %	⑮	授業公開や懇談会の実施、学校だよりや学年だよりの発行を通して生徒の様子を理解してもらうよう努めていますか。	88.9 %
⑯	学校は、危険なところがなく、安全に生活できますか。	87.3 %	⑯	学校の施設には危険な場所がないので、安心して学校に預けることができますか。	93.7 %	⑯	学校施設等の安全を点検し、常に改善を心がけていますか。	85.2 %

教育活動アンケート7月実施の結果と1月下旬実施の結果の分析と考察について

① あなたは、学習にしっかり取り組んでいますか。

「あてはまる」「だいたいあてはまる」を選択している2・3年生の生徒は75%前後とあまり変化はなく、1年生の生徒は85%→79%に低下している。中学校の生活に慣れるとともに、授業に集中できなくなったと感じる面があるものと考えられる。また、保護者の評価が低いことより、家庭学習の習慣が身につけていない者が増加してきていると考えられる。

② あなたは、学校で仲間と協力できますか。

8割以上の生徒は、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を選択しており、学校生活の様々な場面で協力できていると考えている。

③ あなたは、何事にも最後までしっかりと取り組んでいますか。

8割以上の生徒は、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を選択しており、最後までしっかりと取り組んでいると考えられる。今後、全ての生徒が「あてはまる」と答えられるように一人ひとりにあった挑戦の場を設定できるよう、さまざまな視点での取り組みを進めていく必要を感じる。

④ あなたは、元気よく明るくあいさつができますか。

数値を見ると、全学年、生徒、保護者とも大きな変化はなく、学校や家庭でも割合良くあいさつができていていると考えられる。生徒会があいさつ運動に取り組んでいるが、あいさつの輪が校内だけでなく、校外にも広がるような取り組みとなることが理想と考えています。

⑤ 先生は、勉強をわかりやすく、ていねいに教えてくれますか。

「あてはまる」「だいたいあてはまる」を選択した1・3年生の生徒は8割以上、2年生の生徒は7割以上であるが、少なくない生徒が十分満足できていない実態がある。楽しい授業、わかる授業を目指して、さらに研修に取り組んでいきたいと考える。

⑥ TTや少人数教育のときの授業はわかりやすいですか。

1・3年生で80%以上、2年生で65%以上の生徒が「あてはまる」「だいたいあてはまる」を選択しており、1・3年生については概ね満足できていると考えられる。ただし、2年生では、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を選択した割合は33%と三分の一を占めている。この数値を改善する必要がある課題である。TTや少人数教育においても、自分から進んで先生を呼んだり、質問したりできない生徒や声の大きな生徒に先生を取られてしまい不満を持っている生徒がいるのではないかと考えられる。

⑦ あなたは、自然教室・職場体験・修学旅行などの学習に意欲的に取り組みましたか。

保護者・生徒とも、9割以上が「あてはまる」「だいたいあてはまる」を選択しており、とても満足している。今後とも、満足できる取り組みを提供していかなければならないと考える。

⑧ あなたは、学校の成績はテストの点数だけでなく、学習活動全体で評価されていると思いますか。

前期と比較して、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を選択した割合は、1・2年生で7～10%増加し、3年生に至っては14%も増加している。テスト以外にも提出物をきちんと仕上げたり、授業態度、発言など、学習活動全体で評価されていると実感している生徒は7割～9割と幅はある。生徒が自分の学習についての強み・弱みを確認し、強みをさらに伸ばし、弱みを克服できるような評価に向けて、十分な説明をしていきたいと考える。

⑨ あなたは、学校行事や学級活動など学習以外の活動もしっかり取り組んでいますか。

どの学年の生徒・保護者とも、「あてはまる」「だいたいあてはまる」を選択した割合が8割以上である。生徒については、授業以外で自分の力を発揮できる場面を要求し、そこに価値を見出していると推測される。また、保護者においては、学習面以外のこと、例えば人への思いやりや人とのコミュニケーションする力などの育成を要求し、価値を求めていると推測される。学校としては、生徒・保護者に今後とも成果を実感できるような取り組みを進めていかなければならないと考える。

⑩ 学級は、みんなが協力するまとまりのあるクラスになっていますか。

どの学年の生徒も8割以上が「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えており、体育祭や文化祭の行事だけでなく日々の生活の中で問題意識が育ってきているものと考えられる。

⑪ 先生は、相談ののってくれますか。

教育相談期間が1・2学期とも設定されたこと、随時の相談、3年生では教育相談を必要に応じ実施していることなどにより、生徒・保護者とも、「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた割合が、昨年より少し向上している。しかし、他の質問項目と比べても、生徒の満足度は低いと判断する。学校として、生徒・保護者からの相談に積極的に応じる姿勢を大切にするとともに、相談しやすい環境を整えていきたい。

⑫ あなたは、道徳の時間や人権学習の授業にしっかりと取り組んでいますか。

「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた生徒は75%～90%の割合で、概ね満足できる結果であると考えられる。そして、学校で人権や生き方について考える学習が生徒にとって価値のあるものの一つとなっていると考えられる。道徳や人権学習の授業で培った人権感覚と実践にまで結び付けることを次の課題としていかなければならないと考える。

⑬ あなたは、先輩や後輩と楽しく部活動に参加していますか。

生徒・保護者とも、8割以上を超える割合で、「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えている。部活動に対する要求・価値がいかに高いかを如実に表している。しかし、2年生の生徒については、前期よりも10%ほど低下している。2年生の生徒が考える部活動に対する要求・価値をわれわれが理解し、その実現に向かって取り組んでいかなければならないと考える。

⑭ あなたは、部活動にしっかり取り組んでいますか。

1年生の生徒・保護者とも9割程度の割合で、部活動に対する要求・価値が十分満足されているものと考えられる。逆に、2年生の生徒・保護者とも、10%程度低下している。部活動に対して求めるものが十分に満足されていない状態にあると考える。部活動の活性化に取り組むとともに、その要求・価値とは何かを考え、それを満足させるように取り組む必要があると考える。

⑮ 学校の様子を伝えていますか。

学年が上がるにつれ、親子の会話が少なくなっていると思われるが、進路選択をひかえた3年生にあっては会話が増えていると考える。親子共通のテーマとして、学校生活の様子を取り上げていただくことにより、学校でのお子様の活動の様子にふれていただきたいと思えます。

⑯ 学校は、危険なところがなく、安全に生活できますか。

生徒・保護者とも、「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えている割合は8割～9割程度であり、かなり高い水準を維持している。特に、保護者に関しては、前期よりも後期は向上している。学校の日々の取り組みの成果ではないかと考えられる。

以上、16の質問項目を分析し考察してきた結果、本校としての課題が二つ浮かび上がってきた。まず一つ目については、わかりやすいいねいな授業を目指して、日々研修に取り組んでいかなければならないことである。この課題にしっかり取り組むことにより、生徒に確かな学力の定着を期待することができる。もう一つは、生徒からの相談に対して、今まで以上に積極的に応じる姿勢を培っていかなければならないことである。この課題にしっかり取り組むことにより、今まで以上の生徒との信頼関係、また保護者との信頼関係を構築することができるものとする。この二つの課題を来年度中心に取り組み、生徒・保護者・地域住民の方々のニーズにこたえていきたいと考えている。